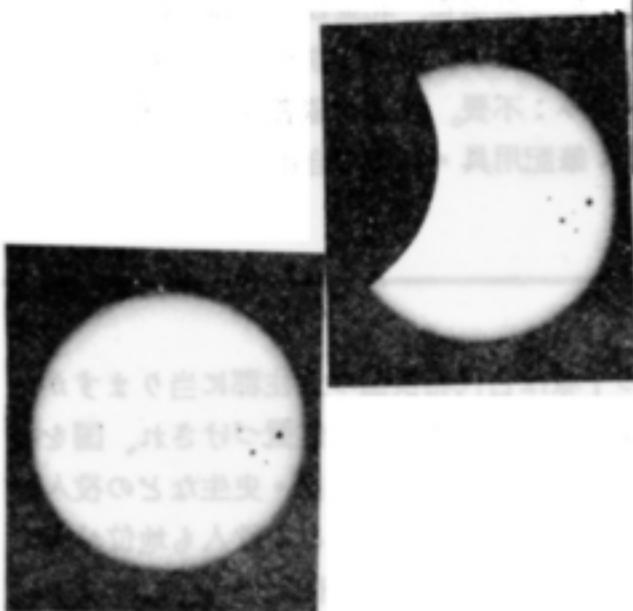
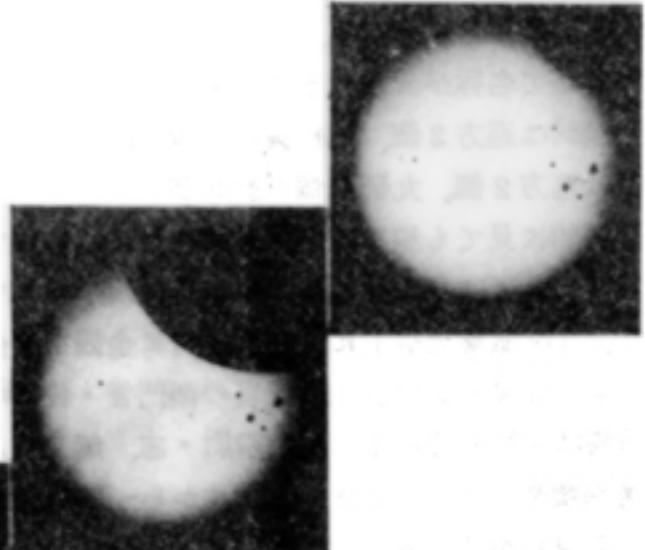
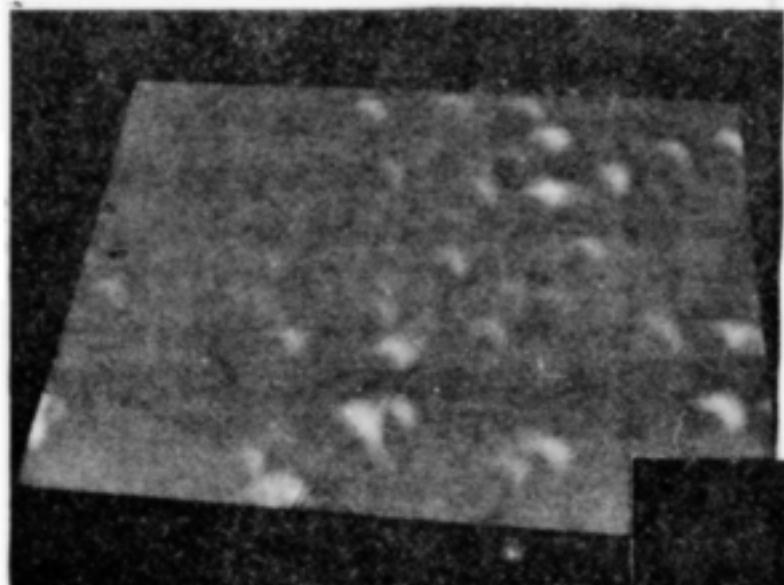


ひらくひづかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 6 NO 6 1981. 9 . 10
平塚市博物館 TNO 65

昭56年9月



● 7月31日の日食

夏休みのまっ最中の7月31日に部分日食が見られました。皆さんもガラスにススをつけたり、黒い下敷で太陽が月にかくされてゆくのをごらんになったと思います。

この日食はほぼ日本全国で部分日食として見られ、北の地方へゆくほど、欠けぐあいの大きな太陽が見えました。

この日食はちょうどお昼ごろから始まり、休館日にもかかわらず博物館には数十人の人が日食を見に集まりました。また、何人かの小中学生が夏休みの宿題に日食の観察をしたい、ということで自分たちで望遠鏡やカメラを博物館の南の芝生の

上に持ち込み、時間をきめて太陽が欠けていく様子をカメラで記録したり、気温の変化を測ったりしていました。

太陽がいちばん欠けた午後1時すぎには、あたりは少しうす暗く感じ、日の光もやや弱くなっているいちばん暑い時間帯にしてはしのぎやすくなりました。その頃に大きな木の下で、葉のすきまからこぼれる、木もれ日が、三日月型の太陽を地面にたくさん映し出していました。

日食は世界的には年2回は起こる現象ですが、日本で次に見られるのはかなり先です。昭和62年の9月23日までまたねばなりませんが、沖縄で金環日食となり、平塚でも今回より欠けぐあいの大きな太陽が見られそうです。

古代の官位を示す金帯

現在国道129号線の拡幅工事に伴なう発掘調査が、神田大野遺跡調査団によって行なわれており、貴重な資料が続々と発見され、非常に成果が上っています。

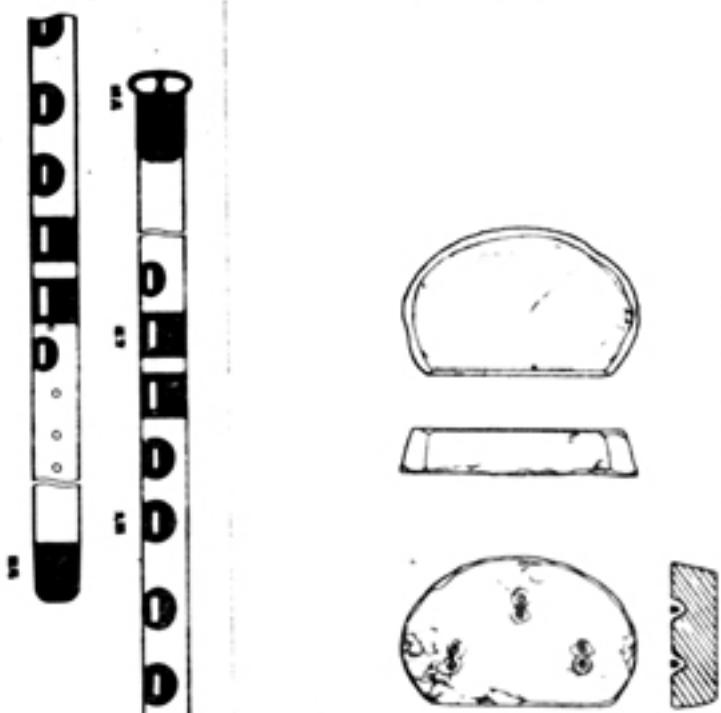
その中の1つに金帯(かたい)と言われる、金と呼ぶ金属性の飾金具をつけた革帯(現在のベルト)の一部が多数検出されています。金帯には銅金と石金の2種類あり、それぞれ装着される部分によって名称が異なります。(下左図)

銅金は巡方2個、丸柄裏金1個、鉢尾1個、石金は巡方2個、丸柄2個の計8個出土しており、全国的に見ても屈指の出土遺跡になっています。

さて金帯は身に付けられる官位が規定されており、「衣服養老令」によると、金帯に金銀を渡金したものは文官五位以上、武官の衛門督・佐、金帯に黒漆は文官六位以下、武官の尉・志、無位官人は烏油腰帶とされています。ですから一般庶民がとても身に付けるものではないことが分かります。

何頃から始まったかは、「扶桑略記」の慶安四年(707)の条に「天下始用革帶」と記されています。

下右図は石帯の丸柄です。この石帯が使用された時期も「日本後記」によれば、延歴15年(796)に銅金を廃し、石帯にかかる条文が見られ、さらに弘仁元年(810)に雜石腰帶が禁止され、もとの金帯に復す記事があります。ですから石帯が使用された期間は796年~810年の間になるわけです。またこの石帯も身分規定され、玉石帯・瑪瑙帯は五位以上、雜石腰帶は六位以下とされています。



10月の行事

●体験学習シリーズNo.58

「紙をすこう」

月日：10月11日(日)

午前9:30~午後3:00

会場：博物館科学教室

参加費：500円

定員：20名(応募多数の時は抽選)

申し込み：10月1日までに往復葉書きで。

※日本古来の手すき和紙を体験してみましょう。

●北金目地区自然観察会

月日：10月18日(日) 雨天中止

集合：午前9時30分、みずほ小学校門付近

解散：12時頃

コース：北金目台地周辺

内容：秋の動植物、北金目の地質の観察。

対象：みずほ小、金目小学校区の児童・市民。

申し込み：不要。参加希望者は当日現地に集合。

持物：筆記用具・服装は自由。

今平塚は古代相模国の大住郡に当たりますが、「今義解」によれば上国に位置づけされ、國を統轄するために守・介・半家・目・史生などの役人が中央から派遣されました。この役人も地位が規定され、守は従五位下、介は従六位下、半家は従七位下、目は従八位下となっています。と言うことはこの石帯は翡翠ですから玉石帯となり、従五位に相当することから、國司クラスの人物が考えられるわけです。金帯の使用期間には、相模國司として、貴族で歌人として著名な石上宅嗣や大伴家持などが派遣されています。

また國司の官厅である國府は現在三邊説が考えられ、大住國府は伊勢原市日比多神社周辺が有力視されていますが、金帯や綠釉陶器など庶民と掛け離れた資料が豊富に出土する点から、國府関連遺跡とも考えられ、同時に大住國府について再検討する余地が十分に残っています。そういう意味で四之宮周辺一帯は古代大住郡の実体を紐解く重要な鍵を握っていると言えましょう。(A)

●星を見る会

「秋の星座をさかそう」

月日：10月24日(土)午後5時～7時

場所：博物館科学教室

内容：秋の夜空にみられる星座をさがします。

*参加は自由ですので当日科学教室へお集まりください。雨天、曇天時も会は行います。

●日本刀鍛錬工程資料

「寄贈品コーナー展示替え」

期間：9月1日～9月29日

展示場所：博物館寄贈品コーナー(一階)



*今回の展示資料は、今年の4月に寄贈された日本刀の製作順序を解説した資料です。日本刀は鍛錬をくり返し行いながら形をつくりあげ、研師によって美しく研ぎあげられてできあがります。寄贈されたものは、相模川のほとりで刀づくりをしている鍛刀師の増田靖要さんの作品です。

材料の砂鉄から玉鋼(たまはがね)をつぶして鍛造し、だんだん刀の形にしてゆく工夫が、ひと目で理解できるよう14の工程に分けて資料がでています。日本刀は、世界一優れた刃物です。折れないように、曲らないように、そしてよく切れるように、いろいろ工夫がされています。よく資料を観察してみましょう。

9月の行事



1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	プラネタリウム
6	日	体験学習「草木で染めよう」 土器づくり プラネタリウム
7	月	休館
8	火	
9	水	土器づくり
10	木	デッサン教室 土器づくり
11	金	デッサン教室
12	土	土曜観察会「鳴く虫とコウモリ」 石佛を調べよう プラネタリウム
13	日	デッサン教室 プラネタリウム
14	月	休館
15	火	休館(中秋の日)
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	プラネタリウム
20	日	自然観察会「箱根に秋をたずねて」 デッサン教室 プラネタリウム
21	月	休館
22	火	
23	水	休館(秋分の日)
24	木	
25	金	
26	土	土曜観察会「高麗山の季節ごよみ」 星をみる会 石佛を調べよう プラネタリウム
27	日	プラネタリウム
28	月	休館
29	火	
30	水	月末休館

国際交流展「メリーランド現代美術展—Works on paper—」のお知らせ

神奈川県と米国メリーランド州との友好提携を記念し、文化交流事業の一環として「メリーランド現代美術展—Works on paper—」が開催されます。Works on paperとは、あまり聞き慣れない言葉ですが、手漉き紙を素材にしたコラージュ作品、シルクスクリーン、沈み彫り、黒鉛素描など現代感覚あふれる意欲的な作品が多数展示されます。なお会期は、10月4日(日)から10月18日(日)の14日間、特別展示室で開催されます。



虫めがね

57年5月完成を目指して今、市役所北側の文化センター敷地内に「文化公園整備工事」が始まっている。計画では博物館と県立平塚青少年会館の間に噴水による中央広場ができるなど、市民の新しい憩いの場となる。完成が楽しみである。

さて、博物館の東側に高さ約15メートル、幹回りは大人の手でひとつかえ半ほどの大木がある。

この大木は「ユリの木」といい、モクレン科の落葉高木で、北アメリカ東部の原産。葉の形が羽

7月 21日	7月 22日	学芸日誌
夏期特別展「相模湾の漁と魚撈」を開催。	「化石を調べよう」を実施。担当森学園。	芸員。「水彩教室」の開始。担当森学園。
夏休み「自由研究相談会」の実施。	サマーセミナー打合せ会。	サマーセミナーの開催。
体験学習「土器作り」を実施。	サマーセミナーの開催。	自然観察入門講座を実施。
部内打合せ。	サマーセミナーの開催。	自然観察入門講座を実施。

織のような半纏に似ていることから「ハンテンボク」とも呼ばれ、直径6センチ程のチューリップ状の黄緑とハダ色の花をつけることから「チューリップ・ツリー」ともいわれる。5月上旬から6月上旬まで咲き続く。国内でもあまり見られない樹木であり、51年7月には平塚市保全樹木に指定されている。この「ユリの木」は、平塚海軍火薬廠当時の明治30年ごろ植えられたと伝えられ樹齢80年と推定されている。

博物館建設の際に設計変更されて生き残るなど平塚の歴史とともに歩んできた大木である。(貞)